

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評
コンチェルト I 部門 / コンチェルト AA 部門 / コンチェルト AB 部門

●審査員 A

総じてレベルが高かったです。オーケストラと演奏する場合、オーケストラがテーマを演奏している時でさえ、ピアノがオーケストラをリードしなければなりません。つまりソリストは、自然なテンポ感やフレーズ感を伝えると同時に、自由でなければならないのです。

●審査員 B

コンチェルトでは自分のパートはもちろんですが、オーケストラパート（今日はピアノ）がどのようなことをしているのか理解しておくとしりとりと演奏が出来るようになるかと思ひます。そしてお互いの音楽を生かして、素晴らしい響きをつくっていきましょう。また、ソロ以上に大切な音をよく響かせるように心がけましょう。

●審査員 C

音楽を体感して、楽しく弾いている方が多くおられました。コンチェルト I 部門については、対話をしているような表現が感じられるようにしましょう。各フレーズのキャラクターをつかんで、表現できると更によくなるでしょう。コンチェルト部門全体については、ソリストであることを意識して表現がもっと前にできるようにしましょう。

●審査員 D

それぞれ曲を自分のものにして楽しく演奏できていたと思ひます。腕の重さを利用して深い響きを感じられると良いですね。

●審査員 E

個々に差が感じられましたが、皆様、この日のために一生懸命練習してきたことがうかがえ、ステージで弾ける喜びが伝わってきました。コンチェルト I 部門では、まだテクニク的に細かい部分が弾けていなくてもアンサンブルを楽しむ方、コンチェルト AA 部門では、とても表現力も上がり魅せることを意識してしっかり表現を楽しむ方が多かったです。コンチェルト AB 部門の課題は、3 楽章のそれぞれの魅力を伝えるために努力していることが伝わってきましたが、テクニク的にむずかしく、それぞれの解釈によって、演奏に差が出ていたと思ひました。伴奏者の方も素晴らしい方ばかりで、年明けから華やかな音楽祭を聴いているようでした。今後もコンチェルト部門は貴重なコンクールステージかと思ひますので、楽しみにしています。ありがとうございました。

●審査員 F

- ・参加者の皆さま、大変楽しそうに気持ちよさそうに演奏されていて音楽への愛が伝わってきて心打たれました。アンサンブルの力を存分に感じられていることが印象的でした。
- ・本日の参加者の皆様においては、自ら指揮者の役割を担っていることを意識されることで、演奏の情熱に流されて拍子感を見失ってしまうことを防げると思ひます。客観的な耳を養う意味でもコンチェルト部門への参加は大変良いお勉強になります。